

【記載例】

海技免状（操縦免許証）返納不能届

下記の事由により返納することができないことを届け出します。

海技免状（操縦免許証）滅失顛末書

下記のとおり海技免状（操縦免許証）を滅失したので、船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第12条第4項（第88条第4項）の規定により届出をします。

万一、滅失した下記海技免状（操縦免許証）を、後日発見したときには、直ちに返納いたします。
※ご記入日をお入れください。

平成 22年 5月 3日

関東運輸局長 殿

氏名 シーサイド 太郎
生年月日 M・T・S・H 55年 11月 11日
本籍の都道府県名 神奈川県
現住所 神奈川県横浜市南区中里 1-22-21
電話 050-1111-1792
(代理する者)

※必要事項をご記入下さい。

※名前・住所・本籍に変更がある方は、変更後の内容をご記入下さい。

氏名 シーサイド海事法務事務所 海事代理士 松本 誠
住所 神奈川県横浜市南区中里 1-22-21
電話番号 050-1111-1792

の部分のみご記入下さい。

記

- 海技免状（操縦免許証）の種類 級（小型・航海・機関・内燃・通信・電子通信）
- 海技免状（操縦免許証）の番号
- 滅失事由とその状況（該当する番号に○をつけ、必要事項を記入して下さい。）
 - 海中に落とした。 場所： 時期：
 - 盗難にあった。 場所： 時期：
 - 紛失した 保管していた場所： 自宅 見当たらなくなった時期： 平成20年1月頃
 - 誤って捨てた。 捨てた場所： 時期：
 - その他（滅失の場所、時期等を含めて具体的に記入してください。）

例：財布を落として、一緒に紛失した。

官庁
記事
欄

- 自動車運転免許証
 健康保険証
 その他

- 船員手帳
 パスポート

海技免状（操縦免許証）返納不能届

下記の事由により返納することができないことを届け出します。

海技免状（操縦免許証）滅失顛末書

下記のとおり海技免状（操縦免許証）を滅失したので、船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則第12条第4項（第88条第4項）の規定により届出をします。

万一、滅失した下記海技免状（操縦免許証）を、後日発見したときには、直ちに返納いたします。

平成 年 月 日

関東運輸局長 殿

氏名 _____
生年月日 M・T・S・H
本籍の都道府県名 _____
現住所 _____
電話 _____

（代理する者）

氏名 シーサイド海事法務事務所 海事代理士 松本 誠
住所 神奈川県横浜市南区中里 1-22-21
電話番号 050-1111-1792

記

- 海技免状（操縦免許証）の種類 級（小型・航海・機関・内燃・通信・電子通信）
- 海技免状（操縦免許証）の番号 _____
- 滅失事由とその状況（該当する番号に○をつけ、必要事項を記入して下さい。）
 - 海中に落とした。 場所： _____
時期： _____
 - 盗難にあった。 場所： _____
時期： _____
 - 紛失した 保管していた場所： _____
見当たらなくなった時期： _____
 - 誤って捨てた。 捨てた場所： _____
時期： _____
 - その他（滅失の場所、時期等を含めて具体的に記入してください。）
〔 _____ 〕

官
庁
記
事
欄

- 自動車運転免許証
 健康保険証
 その他

- 船員手帳
 パスポート